

# 萩 ネットワーク

第 26 号 1999 年 3 月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

萩市ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

萩城跡指月公園内にある志都岐山神社。この神社の参道、池にかかる万歳橋の東側に「ミドリヨシノ」と呼ばれる、日本でも萩市だけに見られる珍しい桜が咲きます。

桜の中で最も一般的なソメイヨシノに似ていますが、萼が緑色をしていることからこの名前が付けました。萩にはここと江向にあり、指月公園のものは樹高は6m、幹周も1.7mあり、幹は地面から3分岐しています。学術的にも貴重なものであり、県指定天然記念物に指定されています。

毎年3月下旬にもなると、梨の花を思わせるような純白色の花を咲かせ、指月公園のほかの木々の緑と相まって、美しいコントラストを私達に見せてくれます。

## 今年も美しい純白色の花を・・・ 志都岐山神社のミドリヨシノ



春のイベント紹介・・・・・・・・・・ P 2～3  
はぎ・なんでも日本一⑤・・・・・・・・ P 3  
吉田松陰と毛利敬親 第2回・・・・・・・・ P 4～5  
ズームアップ 農林水産省 陽 捷行さん・・・・ P 5  
名称が決定 萩市の健康と福祉の拠点・・・・ P 6  
桂太郎旧宅の整備進む・・・・・・・・ P 6  
いよいよ開学 萩国際大学・・・・・・・・ P 7  
「緋が走る」、ジョー指月氏インタビューほか・・・ P 8

浪花の長州・・・・・・・・・・ P 9  
小萩人形を知っちゃって？・・・・・・・・ P 10  
ただ今、開催中！（萩・椿まつりほか）・・・・ P 11  
目次 NY英語指導助手同窓会報に萩市が紹介・・・・ P 11  
夢追人 郷土史家 斎藤 定さん・・・・ P 12  
萩 芸術・文芸の広場・・・・・・・・ P 12～13  
情報アラカルト・・・・・・・・ P 14～15  
幕末・維新こぼれ話・・・・・・・・ P 16

# さあ、出かけよう！ 春色の萩のまちへ！！

## これからの萩は イベント一色！

萩にも、いよいよ春がやってきました。春の訪れとともに、萩では今年も魅力的なイベントを用意して、皆さんをお待ちしています。  
さあ、あなたもふるさと萩の春を満喫しに帰ってみませんか。

### 萩の春の味覚

#### しる魚まつり

今年で19回目の「しる魚まつり」。早春を告げるしる魚を満喫できるいろいろな行事が一杯です。

ぜひ萩ならではの春の味覚を、皆さんでお楽しみください。

とき 3月14日(日) 午前9時30分～午後4時  
ところ JR東萩駅前広場ほか

■イベント内容  
①まつり広場  
内容 もちまき大会ほか  
時間 午前10時～  
②四ツ手網体験  
会場 松本川(萩橋の下)  
時間 午前9時～午後3時  
料金 1500円(体験者にしる魚1袋プレゼント)  
③しる魚グルメ  
内容 おどり食い(無料)、雑炊・うどん・しる魚弁当(有料)



伝統のしる魚四ツ手網漁

毎週日曜日には、萩の郷土芸能などのステージを催します  
3月7日(日) 〓猿回し  
3月14日(日)・21

### 萩・椿まつり

とき 3月22日(振休) まで  
午前10時～午後4時  
ところ 笠山椿群生林(萩市越ヶ浜虎ヶ崎)

■期間中の毎週土・日曜日に実施  
椿見どころ案内 〓椿群生林を散策する人のための無料ガイド  
特産品販売 〓萩の特産品を販売。飲食店もあります

■抹茶席(椿群生林内)  
3月21日(日)、22日(振休)  
■ステージイベント

### 萩の酒まつり

萩地方の代表的地場産品である地酒と北浦の鮮魚・水産加工品等を広くPRするイベントです。  
とき 3月20日(土) 午後3時～

ところ 千春楽別館味楽亭(堀内)  
内容  
①きぎ酒競技会  
5種類のお酒を香りや味で識別する競技です。  
②萩の酒と肴を楽しむ会  
萩ならではの新酒と新鮮な瀬付きアジやアマダイ、しる魚などの肴を楽しみながらの交流会です。  
③清酒展示・PR  
萩の酒の展示などを行います。  
会費 3000円(誰でも参加自由、女性の参加を歓迎します)  
問い合わせ 萩市商工課(0838825313)へ

日(日)・22日(振休) 〓郷土芸能披露

■無料シャトルバス  
明神池上から会場までをシャトルバスが随時無料運行します  
問い合わせ 萩市観光課(0838825313)内線275)

### 萩・花ごよみ'99 萩の見どころ案内

花木名	花の見頃	見どころ
つばき 椿	12月下旬 3月下旬	■笠山椿群生林：約10haの規模で25000本のやぶ椿が群生する
うめ 梅	2月上旬 2月下旬	■萩往還梅林園：白梅、紅梅など約250本 ■大照院：梅の古木がある
なのはな 菜の花	3月下旬 4月上旬	■萩有料道路沿線：約3haにわたり広がる菜の花畑。その他市内各所に点在
さくら 桜	3月下旬 4月上旬	■萩城跡指月公園：ソメイヨシノ約600本、ミドリヨシノ1本 ■南明寺：イトザクラ
ぼたん 牡丹	4月中旬 4月下旬	■萩城跡指月公園：約600株の牡丹園。開花時には約4000の花が一斉に咲く
つつじ 躑躅	4月下旬 5月上旬	■萩城跡指月公園：ヒラドツツジ ■石彫公園：キリシマツツジ ■東光寺
なつみかん 夏蜜柑	5月上旬 5月中旬	■萩市内全域：開花時期には市内中が甘酸っぱい香りに包まれる
はぎ 萩	8月中旬 9月下旬	■河添河川公園：約5000株。その他、橋本川沿い、萩城跡指月公園など
つわぶき 石路	10月中旬 11月中旬	■萩城跡指月公園：公園内に約5000株。奥萩本陣の庭園にも多くの花が咲き乱れる

### 萩・花ごよみ'99 萩の見どころ案内

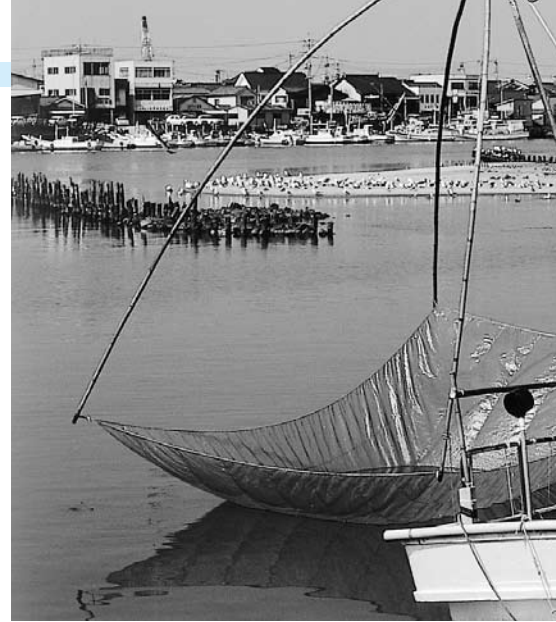
自然豊かな萩。椿や桜をはじめとして、萩には多くの花の名所があります。今回、その花々の紹介が「萩・花ごよみ'99萩の見どころ案内」としてまとめられました。「ツバキ」から「ツフブキ」まで、9種類の花が紹介され、それぞれ花の見頃や見どころが記入してあり、いつ・どこで・どんな花が咲くのか知ることができます。皆さんも、萩に咲く美しい花々を楽しんでみてはいかがでしょうか。



指月公園の桜

### 花見情報

今年も3月19日(予定)から1か月間、萩の桜の名所、萩城跡指月公園の歩道沿いに観桜用の照明(ぼんぼり)が設置されます。帰省の折、懐かしい仲間たちと美しい夜桜の下で花見を楽しんでみてはいかがでしょうか。



第9回 萩焼まつり

GW恒例のイベントとなった「萩焼まつり」も、今年で9回目。「土と生命の炎が織りなす陶芸の祭典」へぜひお出かけください。  
 とき 5月1日(土)～5日(祝)  
 ところ 萩市民体育館ほか  
 内容 萩焼即売(萩焼窯元・販売店による即売会)、ロク口実演と作陶指導(当日受付・有料)ほか  
 問い合わせ 萩商工会議所 内萩焼まつり実行委員会 (0838・25・3363)へ

萩・大茶会

毛利のお殿さまも愛されていた、萩の茶の湯の文化を、今に伝える「萩・大茶会」が今年も盛大に開催されます。  
 とき 5月3日(祝)～4日(振休)  
 ところ 萩城跡指月公園、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋  
 お茶券 セット券12000円

(薄茶4席、1席券11600円(当日は1席券のみ6500円)) ※遠方の方は郵送でも購入できますので、お問い合わせください。

問い合わせ 萩市観光課 内萩・大茶会実行委員会  
 ※萩焼まつり、萩・大茶会は会場での車の混雑が予想されますので、萩市役所前から無料シャトルバスをご利用ください。

牡丹・つつじまつり

萩城跡には美しい花をつけた牡丹やつつじがいっぱいです。  
 とき 4月17日(土)・18日(日)  
 ところ 萩城跡指月公園ほか  
 内容 牡丹の即売ほか

萩・夏みかんまつり

萩のトレードマーク「夏みかん」。真っ白い花を咲かせ、市内は甘酸っぱい香りに包まれます。  
 とき 5月9日(日)  
 ところ 萩城跡指月公園  
 内容 夏みかん物産市(菓子・加工品・ジュース等の販売)、ほか  
 問い合わせ 牡丹・つつじまつり、萩・夏みかんまつりに関しては、萩市観光課

萩市笠山 椿群生林ガイド



「萩市笠山・椿群生林ガイド」ができました

椿まつりの会場でもある笠山にある椿群生林は、全国有数の椿の名所として整備され、ツバキ愛好者や観光客の眼を楽しませていきます。しかし、これまで椿群生林の歴史的背景や樹形、花の種類などの楽しみ方についてのガイド的な本はありませんでした。この度、萩ツバキ協会と萩花ごよみ実行委員会、萩市によって「萩市笠山・椿群生林ガイド」が制作されました。ガイドは18ページ全16項目で、群生林のできた背景や様々な種類の花の紹介、七不思議などが掲載され、これ1冊で萩の椿群生林を知ることができます。「萩・椿まつり」期間中は、会場にて1部2000円で販売されます。また、萩市の観光課花と緑の推進室でも販売していますので、ぜひ一度ご覧ください。

はなつら なんでも日本一!

第5回 日本最初の女体解剖をした医家 栗山孝庵

萩市大屋には、藩政時代の刑場跡が残っています。240年前の宝暦9年(1759)、ここで日本初の女体解剖が行われ、現在の地には「栗山孝庵(猷臣)女体屍体腑分之跡」と彫られた石碑が建っています。

栗山孝庵猷臣は享保16年(1731)萩の米屋町に、藩医栗山孝庵之経の3男として生まれ、11歳の時父が没したため家を継ぎます。

天明4年(1784)京都に上がり、そこで生涯の師となる山脇東洋に学びます。後に長崎に遊学、そこでオランダの人体解剖図を見て西洋の医学に対する関心を深めていきます。宝暦4年(1754)2月、東洋が京都の獄舎で我が国初の学術的人体解剖を行い、その所見をまとめ宝暦9年に「蔵志」と題した解剖書を刊行します。孝庵にも事前にその一部が送られており、彼も解剖の機会を待ちます。



女体解剖の碑

宝暦8年(1758)3月、萩の手洗川刑場で、同志の熊野玄宿らと共に男性の遺体の解剖を行います。そして翌9年6月21日、磔刑に処される女性がいることから藩に請願、これを藩が受け入れて斬首に切り替え、日本最初の女体解剖が行われることになりました。



孝庵の墓(萩市保福寺)

天明4年(1784)7代藩主重就の侍医となり、江戸へも赴き、平賀源内や杉田玄白らとも交友がありました。特に「解体新書」を刊行した玄白とは、互いに尊敬し合い、友情で結ばれていたようです。天明7年(1787)には、養孫幸庵ら後継者のため3度目の解剖を萩で行いました。

寛政3年(1791)11月16日、萩の地で61歳で没します。

孝庵の3度の解剖は、長州藩の

○次回の「はぎ・なんでも日本一」では、元気な島・大島について紹介します。

# 吉田松陰と毛利敬親 第2回

## ほんまれの講義、慚愧に堪うるなし

長州藩をして明治維新を主導させた源流は吉田松陰（1830 - 1859）にある。その松陰という人物を生み出すのに預かって力あったのが、藩主・毛利敬親（1819 - 1871）その人だった。二人の運命的ともいえる最初の出会いが、あの「ほんまれの講義」である。家学を講じた松陰、時に11歳。聴く敬親22歳。ともに曇りない精神の持ち主で、若い藩主は率直に少年の秀才を誉めた。松陰は強く励まされるが、自分はほんまれにあたいしないと恥じ、藩主への心理的な借りの始まりともなった。



松陰と敬親、運命の出会いとなった御前講義（山口県教育会「松陰読本」から）

### 家学の兵書を「孫子」で生かす

この御前講義の行われたのは敬親が2回目のお国入りをした天保11年（1840）だが、月日はわかっていない。場所は萩城本丸の御対面の間。当時、大次郎と呼ばれた松陰は今でいえば小学4年生でしかない。なりも小柄だったろうから、いかにも幼い。

ところが、この小童が山鹿流兵学の教典「武教全書」戦法編の「三戦の事」を講じ始めると敬親はじめ居並ぶ大人たちは息をのみ驚きを隠せなかった。臆したようすもなく、子供らしいよく響く声で子供とおもえぬことをよどみなく語っていく。まさに敬親らを感嘆させたのは講義の内容だったはずだ。今、この時の講義録は「吉田松陰全集」（大和書房版）第1巻の巻頭に「武教全書講義」としてある。講義の最初に少年松陰はこう言っている。

「この『武教全書・戦法』は場所に依じて戦う作法は教えているが、全く勝つべき術には言及していない。だから、この編では『孫子』の軍形・兵勢あたりの編の意味をとり、全く勝つべき理を説いて戦法となしたのである」

師匠である叔父、玉木文之進の全面的な指導があっただろうが、早くもここに松陰の学問に取り組む基本的な姿勢が出ている。それは聖賢におもねらず、先賢の教えにとらわれず、真に役に立つ実学を創出するというものだ。

これは家の学を後生大事とする並の兵学者

### 大次郎は誰が教えているのか

「見事であった」の一言が発せられただろう。

この藩主の言動が少年松陰とその叔父の異例の名誉になったことはいうまでもない。

評判はたちまち城下と周辺に広がったらしい。松陰の甥で後に吉田家を継ぐ吉田庫三の書いたものなどによると、杉家には門人や知人、親戚がかわがるがわるお慶びに訪れたという。

ちなみに、吉田松陰は生涯、実家である杉家で生活し、本人の感覚も杉家の子だった。

### 年少にして虚誉をえる

先ほどの吉田庫三もこの「ほんまれの講義」を「松陰が十一の時、進講して藩主に神童と認められたが始めで」と誇らしげに書いている。だが、松陰自身の気持ちはおよそ誇らしさや喜びとは無縁だったようだ。

後年、彼はこの時の心境を「益田弾正君に上る書」の中で、こう書いている。

「僕、年はじめて十一、実に始めて進講し対面せしも、童稚なにをか弁えん、すなわち憐れみを賢明に取る。退くや恐悚慚愧、身をおくに所なかりき」

松陰の文章は難しいのが玉に瑕だが、大意をとれば、11歳で初めて藩主公に進講したが、幼い子供のことで何もわからず、賢明な殿が憐れんで誉めて下さった。体の震えるほど恥ずかしく、身のおきどころがなかった、となるだろう。同じ上書に「僕、年少にして過つて虚誉を獲たるも実に材学なし」と、実力も



萩・明倫小学校の資料展示室におかれている吉田松陰のブロンズ像

なく誉められ誤ったほまれを受けたのだと告白している。

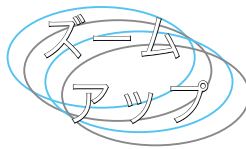
### ほんまれの背後に天保の改革

実は、彼がいたく藩主の賞賛をうけた御前講義は、単なる太平時の『ご進講』ではなかった。この天保11年は事実上前年に開戦したアヘン戦争のニュースが伝えられ、敬親が村田清風を起用した長州藩天保の改革が待ったなしで始まっていたからだ。その改革の柱であり同時に成否の力ギをにぎるのが文武の興隆であった。

そのことを深く認識する藩主敬親が、国入りのつど藩校明倫館の教授たちの実力を、みずから試していた親試だったのである。それだけに、年少ながら末たのもししい人材を見出した敬親の喜びは大きかったのだ。

以後、敬親は松陰にとくべつ目をかける。4年後の親試では家学のほか特に命じた「孫子」の講釈にたいへん感服し、褒美に中国の兵法解積書「七書直解」14巻を与えた。

この時も「朋友親戚、まますま艶称してほまれ



農林水産省農業環境技術研究所企画調整部長  
陽 みなみ 捷 かつゆき 行 ぎょう 氏 (萩高14期卒)

今回は、昨年地球環境の研究で優れた功績を上げた専門家をたたえるユアン・ティー・リー国際賞を受賞された、陽捷行さんに、豊かであるはずの地球の現状と、市民が一体となった環境保全の街づくりについて語っていただきました。

に言えることではない。ただの秀才に言えることではない。講義がすむと、敬親は侍臣に尋ねる。「大次郎こと兼ねて文学は何某教導するや」と。松陰の実兄・杉民治が「松陰年譜草稿」に伝える言葉だが、当然この前には



文武を奨励し質素を心がけた藩主敬親が着用した木綿紋服(萩市郷土博物館蔵)

となす者あり、慚愧に堪らざる」と強く恥じ入っている。ここから、何とてでもこの藩主の愛顧にむくいなければならぬという松陰生涯の課題が生まれるのである。(つづく)  
(元毎日新聞編集委員 北村 知紀)

豊かであるはずの地球は今

農業と地球環境の変動にかかわる研究にたずさわっているため、このところ多くの国を訪れる機会に恵まれています。

そこには、さまざまな色に変化する美しい空、満天にきらめく星雲、まぶしい純白の雪に覆われた山脈、太陽光にきらめく広大な海、

濡れたように黒く光る緑の森、不気味に光る凍つくハイウエー、息ぐるしいまでの新緑に溢れたブラタナスの並木路、真夏の夕陽に染える山々、わびしそうに風に吹かれていく収穫の終わったブドウ樹の葉などがありました。

なかでも、本の編集のため滞在したロッキーマウンテンの山小屋生活は、とても印象的でした。ときおり作業の合間をみて、あざやかな羽毛をもち空中に停止できるハミングバード(はちどり)に砂糖水をやりました。そのとき、一寸の間、ハミングバードが私の指先に

止まってくれました。その瞬間、私は、どんな名誉ある賞よりも、一層名誉あるなにかをハミン

グバードから与えられたような気がしました。

また、インドのニューデリーでは、ブツダがその下で悟りを開いたといわれるバンヤンの樹に出会うことができました。この一本の大きな樹の周りには、多くの生命が共存していました。アブやハチの類は休みなく花の蜜を吸い、インコやハトの類は騒々しく木の実をついばみ、リスや孔雀の類は餌を求めて樹下を闊歩し、ひとびとは、時間とは無縁といったふうに樹下に涼を求めていました。一本の樹が、これほどまで多くの生命とかかわっていることをこれまで知りませんでした。

これらはすべて、豊かな地球環境がいまなお健在であることの証なのです。しかし、この健全であるべきはずの環境が、脆くも崩壊しつつある場面にも多くてくわしました。

ドイツのバヴァリア地方の町からロマンチック街道を目指して北上したとき見たものは、土

壤浸食による赤肌を呈したこの地の山々でした。地球生命圏ガイアの悲鳴が聞こえるようでした。ス

トックホルムの近郊都市シグチュナでは、凍つく冬であるにもかかわらず、市内の湖水は風に揺られていました。地球の温暖化がみごとに現われているのです。真夏のキャンペラでは、強烈な紫外線にでくわし皮膚をひどく焼くことになりました。オゾン層の破壊が着実に進行しているのです。パンコックや台湾では、自動車の排気ガスからの攻撃を避けるために、ひとびとはマスクを常用してしました。恐るべき大気汚染がひとびとを蝕んでいるのです。世界のいたるところで、大地と大気の悲鳴が聞こえています。

環境保全の街づくり

ところで、わたしを育てくれた「自然の母」である「萩」はどうなのでしょう。風景として見るかぎり、病んではないようです。

ときおり帰省するわれわれを大きく包み込み、われわれに再び豊かなエネルギーを提供してくれま

す。これは、萩の自然が、萩に住みつけている「ひとびと」の思いと共生して提供してくれる生きることへの喜びに関する何かなのかも知れません。故郷を離れたわたしたちにとって、萩は「母」であり「不滅」なのです。  
イギリスのヨーク市は、環境を保全することを目的に、市民が一体となってこれに協力しています。それはすばらしい町です。萩市が日本のあらゆる市町村に先だって、地球環境を保全するためのモデル都市にでもなれば、それはそれで感激の一言に尽きるのです。

プロフィール

1943年萩市生まれ、1971年東北大学大学院農学研究科博士課程修了、1977年米国アイオワ州立大学客員教授を経て1997年農林水産省農業環境技術研究所企画調整部長

萩・健康維新の里



萩市民病院

萩・福祉複合施設かがやき

名称が決定！萩市の健康と福祉の拠点  
地区全体「萩・健康維新の里」、新市立病院「萩市民病院」、複合施設「萩・福祉複合施設かがやき」

これまでに、本誌でも紹介してきました萩市椿地区に建設中の新市立病院の名称が決定しました。新市立病院は、平成12年4月の開院を目指して建設されています。

これは、萩市が、新市立病院、高齢者保健福祉複合施設と2施設が整備される地区全体の名称募集を行っていたものです。応募総数は107通で、地区全体の名称が102件、市立病院が94件、複合施設104件でした。

審査の結果、次の皆さんの応募作品に決定しました(敬称略)。

萩・健康維新の里の概要

- 萩・健康維新の里  
所在地 萩市大字椿字門田(大照院前)  
開設 平成12年4月(予定)  
総事業費 約80億円
- 新市立病院(萩市民病院)  
構造 鉄筋コンクリート造3階建  
床延面積 8321.46㎡  
病床数 115床(一般100床、結核15床)  
診療科目 内科・外科・整形外科
- 萩・福祉複合施設かがやき  
構造 鉄筋コンクリート造3階建  
1階 老人保健施設デイケア、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、ホームヘルプステーション、給食サービスステーション、訪問看護ステーション  
2階 老人保健施設 定員80名(一般60名、痴呆20名)  
3階 特別養護老人ホーム 定員50名(一般30名、痴呆20名)、ショートステイ20名

- 地区全体  
名称 萩・健康維新の里  
受賞者 萩市見島・堀裕明(見島中学校3年)
- 新市立病院(応募者多数のため抽選)  
名称 萩市民病院  
受賞者 萩市川島・数木照子(60歳)
- 複合施設  
名称 萩・福祉複合施設かがやき  
受賞者 横浜市都筑区・網屋正子(48歳)



「萩・福祉複合施設かがやき」の建設がスタート  
「萩・福祉複合施設かがやき」の建設工事がスタートしました。2月17日には、野村市長をはじめ関係者約50名が出席して、建設予定地で安全祈願祭が行われました。

桂太郎旧宅の整備進む



春からの一般公開に向けて

萩市出身の政治家・桂太郎の旧宅(萩市川島)が平成9年12月に所有者の川島町内会から萩市に寄贈されました。

市は、平成10年1月に旧宅を市史跡に指定し、保存のための解体修理を施し整備を進めていきましたが、3月27日に竣工式が行われました。今年の4月からは、観光客の休憩所にも利用するなど一般公開する予定です。

桂太郎は、明治から大正にかけて3回にわたり通算8年近く首相を務めました。旧宅は、第二次桂内閣時代の明治42年(1909)に川島の藍場川沿いに建てられた住宅です。

敷地面積は約906㎡、建物は約70㎡の母屋と50㎡の長屋の木造平屋の二棟があり、藍場川沿いの歴史的景観保存地区に位置し、藍場川から引いた池などの日本庭園があります。



桂太郎の子孫から昭和23年(1948)に当時の川島村親睦会に寄贈され、川島町内会が管理してきました。  
しかし、建築後90年近く経過して老朽化したうえ、最近旧湯川家の一般公開など藍場川周辺が観光スポットとして注目を集めていることから、桂太郎生誕150周年を迎えたのを機に、文化財として管理、活用してもらおうと町内会から市に寄贈されたものです。  
桂太郎は、首相として日英同盟やポーツマス条約、日韓併合条約締結などに当たったほか、拓殖大学の創立者としても知られています。平成12年(2000)の拓殖大学創立100年に向けて、市民・観光客に開かれた文化財として萩の新しい名所が誕生します。

# 祝 萩国際大学開学

萩国際大学の開学まで、1か月を切りました。キャンパスでは、学生受け入れの準備も順調に進んでいます。4月2日の竣工祝賀会、第一期生を迎え入れる12日の入学式が待ち遠しいものです。

新しい地方の時代に、萩に大学ができることの意味は極めて大きいものです。大学が本来もつ教育機能の他に、大学スタッフや学生と地域との交流、若者が地域に住むことによる活性化、経済効果など、さまざまです。また、多数の留学生と外国人教員を迎えることになるため、国際化が急激に進展します。留学生は4学年揃えば200名以上になります。



体育館

## 4月の行事予定

- 4月2日 竣工祝賀会
- // 12日 入学式
- // 13日~15日 新入生オリエンテーション
- // 16日 新入生歓迎会
- // 19日 前期授業開始
- // 26日 履修届受付開始

萩国際大学が地域に根づくように、そして素晴らしい大学になるように地域挙げてバックアップしていきます。読者の皆さんにも萩国際大学のよき理解者として、大学を温かく見守り、支援していただきますようお願いいたします。

3月27日(土)、28日(日)の午後に、萩国際大学施設見学会を開催します。大学開学前にキャンパスを一般の方に直接見ていただくために実施します。読者の皆さんの中で、この時期に来萩される予定のある方は、この機会にぜひ参加してみてくださいいかがでしょうか。

問い合わせ 萩市大学問題対策室(08338・25・3131内線408)へ

## 入学試験について

萩国際大学のC日程の入学試験が3月28日に行われます。出願期間は3月24日までで、試験会場は萩市のみです。

入試区分	学部学科	選抜方法	出願期間	試験日	合格発表
一般入学試験	国際情報学部	学力検査(英語)及び書類選考	2/20~3/24	3/28	3/29
	国際学科 経営情報学科				
C日程					

入学試験に関する問い合わせは萩国際大学入試センター(08338・26・2955 FAX 24・2228)へ

## 地域振興券 萩市が県内トップの2月26日交付開始

国の景気対策事業として始まった「地域振興券交付事業」。

萩市では消費の冷え込む2月に交付し景気回復の効果を早く出そうと、山口県内トップの2月26日に交付を開始しました。

また、全国的に話題となっているデザインについては地域振興券と特定事業者が張るステッカーには、特産の夏みかんをイメージした「はぎ丸くん」を採用しました。振興券には吉田松陰の肖像の透かしが入っています。

萩市内の振興券交付対象者

は約1万4700人で、総額2億9400万円となります。

県内の対象者は42万7000人、総額85億4000万円になり、4年前の調査で県内の年間家計総支出額は約3兆円にのぼり、全部使ったとすると約0.3%弱に当たります。



萩市地域振興券「はぎ丸くん」 ¥1000 見本

## 清酒「鬼よつず」出荷



萩市見島のコシヒカリを使った清酒「鬼よつず」の今

年初めの出荷式が2月5日、浜崎町の離島航路発着場で行われ、島内の酒店等へ向けて新酒が発送されました。

昨年4月、萩-見島間に高速船「おによつず」が就航したのに合わせて、見島振興会、島おこし会が地元特産のコシヒカリを使った地酒づくりを、萩市内の岩崎酒造に依頼したものです。

昨年は、1800ml(一升)瓶で約3000本生産され、離島

## 見島の新しい特産品

の米を使ったお酒は全国でも珍しく、地元旅館での利用やお土産など見島の新しい特産品として人気を呼び、半年で売り切れました。清酒「鬼よつず」は、甘口の本醸造タイプで、ラベルに見島の大風鬼ヨースが描かれています。見島年間観光客数は約1万人。「鬼よつず」効果により、島の活性化を図り観光客を増やすことが期待されます。

価格は、1800ml 1900円、720ml 975円、300ml 354円(税別)。岩崎酒造が直販するほかは見島でしか買えません。

問い合わせ 岩崎酒造 萩市東田町58(08338・22・0024)へ

# 「緋が走る」 放送日決定!

NHK総合 水曜ドラマの花束「陶芸青春記 緋が走る」  
4月7日(水)から毎週水曜日(6回シリーズ)

緋が走る続編「美咲の器」も連載開始

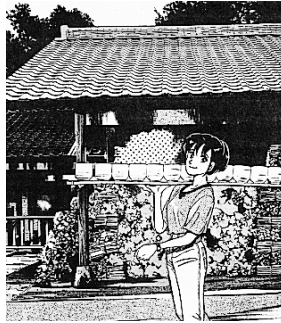
原作者ジョー指月氏にインタビュー!

萩ネットワーク平成10年12月号で紹介した、萩焼の究極美に挑む若い女性を描いたドラマ「緋が走る」の放送日が正式に決定しました。今回は、「緋が走る」原作者のジョー指月氏に、ドラマ化とコミックについてコメントをいただきました。



萩ロケの風景

朱よりも赤い究極の色「緋」を  
目指して陶芸に挑む女性の青春群  
像を描いたこのドラマは、NHK  
総合テレビで4月からいよいよス  
タートします。  
待望の萩と萩焼が舞台のドラマ  
です。皆さん、ぜひご覧ください。  
■水曜ドラマの花束「陶芸青春記  
緋が走る」  
放送日・時間 4月7日(水)か  
ら毎週水曜日(全6回)午後10時  
〜10時45分  
放送局 NHK総合テレビ  
出演 田中美里(松本美咲)、山  
田純大(一柳乙彦)、的場浩司(高  
杉晋吾)、真野響子(松本静江)ほ  
か



集英社 ジョー指月  
©あおきてつお

## コミック「緋が走る」

テレビドラマ「緋が走る」が始  
まるまでに、ぜひ原作のコミック  
を読んでみてはいかがでしょう  
か。

平成4年から約6年間、集英  
社「スーパージャンプ」誌で連載  
されていた、ジョー指月氏原作に  
よるコミックもテレビドラマ以上  
に、非常に魅力的です。現在、スー  
パージャンプコミックスとして全  
15巻好評発売中です。

コミックもドラマと同様、父の  
訃報をきっかけに、主人公美咲が  
陶芸の道を志す場面から物語は始



コミック「緋が走る」集英社刊

## ジョー指月インタビュー

私のデビュー作は「アストロ  
球団」(週刊少年ジャンプ連載  
集英社)である。これが大ヒッ  
トとなり、次々と連載を書く。  
いや後半は書き流していたのか  
も知れない。これでいいのかと  
疑問が湧き、15年前に故郷の山  
口県へ帰って来る。



あおきてつお氏と(左ジョー指月氏)

まります。そして一人前の陶芸家  
となっていくプロセスを、あおき  
てつお氏の画が盛り上げます。果  
たして美咲は父の意志を継いで、  
「緋」を走らすことができるので  
しょうか。その答えは、ぜひコミッ  
クでお確かめください。

## 原作者 ジョー指月氏が語る

萩の街と萩焼であった。5年間  
の充電と綿密な取材を重ね、地  
方から中央へ、文化の発信を込  
めて「緋が走る」(スーパージャ  
ンプ集英社)を連載する。本  
物はやはり読者に歓迎されヒッ  
トとなる。

このたびNHKからTVドラ  
マ化の話があった時、これまで  
取材でお世話になった萩の方々  
に、これで少しはお礼が出来る  
と、心良く承知しました。

私は萩の全てが好きだが、特  
に菊ヶ浜がいい。取材のたび、  
なにもかも忘れ、砂浜に坐っ  
ていた。そのため、主人公の美咲  
も良くここに来る。「緋が走る」  
は一昨年完結したドラマだが、  
読者からの熱烈なラブコールを  
受け、「美咲の器」として再開。  
美咲の更なる成長を描く。(指月)



集英社 ジョー指月  
©あおきてつお

主人公美咲は陶芸家として更に成  
長を遂げようとしています。ここ  
らもぜひご覧ください。





# 浪花の長州 大阪の長州大師と大村益次郎先生寓地

大阪の地には、長州に関係した史跡がいくつか存在します。

今回、大阪在住の中山光夫さん（萩高4期卒）に、「浪花の長州」と題して、大阪にある長州大師と大村益次郎の史跡について紹介してもらいました。

関西在住の方はもちろん、大阪を訪れた時に一度訪ねてみてはいかがでしょうか



## 大阪の長州大師

浪花の大阪に、長州大師がある。「開運山長州大師三蔵院高野寺」（門札では開運山高野寺）がそれで、大阪市西区土佐堀1丁目510が現在地なのだが、昔は江戸堀と土佐堀にはさまれた地域で、各藩の蔵屋敷が並んでいた場所である。

時の長州藩毛利敬親公は、明治四年の廃藩置県にあたり、それまで高野山に志納米を献じていた代わりに、この江戸堀長州蔵屋敷1万3200㎡を一括して、高野山総本山金剛峯寺に寄進され、毛利家歴代の永代供養とされた。そこで金剛峯寺はここに一寺を建立し、高野山に古くから伝わる弘法大師の尊像を本尊として、安置されたのが長州大師のはじまりである。

その後、この本尊は厄除け、開運に靈験あらたかとのうわさが広まり、数年後には信仰者が浪花中に増え、香煙が絶えなかった。明治13年、時の金剛峯寺座主、師岳

快猛大僧正は、高野山準別格大本山三蔵院をこの長州屋敷に移すとともに、諸堂宇を整備して長州大師を高野山浪速別院と定めた。

昔は、4000坪程もあった境内には、芝居小屋もありにぎわったが、大阪も都市化が進み市街地整理等で、寺域は大幅に減らされ現在は、ビルに挟まれバス停前で車の排気ガスをあびせられる様になっている。

門を入り、正面階段を登ると本堂があり、本堂両脇には立派な力強い仁王尊像が寺を守り、左側の仁王尊の脇には、寶頭盧尊者座像がまつられている。又、本堂下の境内左手には不動明王、右手には大きな地藏菩薩、その奥に水子地藏と十基程のお墓が並んでいて、本堂下の奥には、44体のお地藏様が安置されている。三蔵院から起算すると、約800年の寺歴をもつ古刹である。尚六代貞吉覚照師は山口市嘉川御出身で、佐藤栄作元総理大臣も大阪にこられた折には、お参りされたそうです。



## 大村益次郎先生寓地

長州大師のある、土佐堀通りを少し西に行き反対側の、大阪市西区江戸堀2丁目6の33、江戸堀シズビル前に、大村益次郎先生寓地地の石碑がある。石碑には、大村郷遺徳顕彰會昭和18年六月建之とあり、傍に大村益次郎寓地跡の説明文が書いてあり「大村益次郎は、儒学、蘭学、医学、西洋兵学に通じ幕末から明治維新にかけて日本の近代化に非凡な才能を発揮した。嘉永2年（1849）からこの地の倉敷屋作衛門の座敷に住みながら緒方洪庵の適塾で医学を学び、後に明治新政府の兵部大輔（兵部省次官）となり近代国家の制定に貢献した。」

以上現地取材

萩高4期卒 中山光夫



石見空港路線を利用の方へ  
特定便割引運賃が  
設定されました

4月1日から5月31日まで、石見空港発着の石見東京便、石見大阪便の全便に「特定便割引運賃」が設定されました。

今までの「早期購入割引」に代わるもので、これは搭乗日の前日でも「特割」の予約が可能になります。特に大阪便は大幅の割引となっておりますので、萩への帰省にご利用ください。

### ■東京便

割引率 10%（普通運賃）

2万6700円↓特割運賃

2万4050円

### ■大阪便

割引率 30%（普通運賃）

1万8950円↓特割運賃

1万3250円

### 適用条件

・搭乗日の2か月前から前日まで予約可能

・予約日を含めて4日以内に購入券を購入

・東京便に関しては、ゴールデンウィーク中（4月29日～5月5日）は利用できません

※座席数には制限があります。

問い合わせ 石見空港利用拡大促進協議会

協議会

## 4000年のロマン

建設現場から古木を発掘！



2月下旬に萩東中学校の生徒が「何の木ですか」と学校に10cm位の小さな木片を持参。中学校からめぐり巡って「花と緑の推進室の樹木医に聞けば…」と物言わぬ小さな木片。聞けば「埋もれ木」だったとのこと。「ぜひ本物が見たい」と所有者を尋ねたら直径1.3m長さ5mの大木。場所は11月中旬の萩市沖原のボーリング場の地下8mからだと言う。これは、現在の海水位より4mも低い位置になる。江向で下水道工事の際に同じ位置から採取した砂を鑑定すると4000年前のもだったため、つまり地球が冷えていた弥生時代前で縄文時代晩期の木ということになる。

物言わぬ「埋もれ木」、古代の眠りを覚ましてこの世に現れ何を思うやら。最後になりましたが「何の木ですか」の問いに、土中の湿度から開放された表面は乾燥により風化してしまったが、おそらく「スダジイ」ではないかと思われまます。

## 私のお店

鎌倉の萩焼の店

萩焼

彩炎さいえん



山村さん

鎌倉市雪ノ下1-11-2 雪ノ下ビル2F  
(TEL) 0467-25-4068

午前11時～午後5時30分(土日は午後6時30分まで)

店休日 毎週木曜日と年末

オーナー 山村美智子(旧姓松野) 萩高18期卒

鶴岡八幡宮から一直線に海まで伸びる鎌倉のメインストリート若宮大路にあるこの店は、関東地方では珍しい萩焼専門店です。「良い品しか取り扱いません」というオーナーの言葉通り、お香が微かに香る店内には、茶碗を始め萩焼の名品逸品がずらりと並んでいます。

人、焼き物愛好家が訪れるのとこのです。

「窓越しに見える段葛の桜並木や周りの風景から季節を身近に感じることが出来る店で気に入っています。また多くのお客さんとの新たな出会いと、それによって得られる発見も嬉しいですね」と楽しそうに話されるオーナー。お客さんとの会話が弾み、気がつくともしばしばだとか。気さくな

オーナーの人柄にひかれた常連さんの中には、萩を旅行した折りにオーナーの実家(浜崎の松美屋醬油店)を訪ねる方もいるそうです。

なお、萩市在住の松野龍司さん(緑染窯)の実姉にあたられます。※段葛 若宮大路の中央を走る鶴岡八幡宮の参道で、源頼朝が作ったもの。当時の面影をよく留める。

萩在住の頃より焼き物に関心があつた

とのこと

で、当地で折りに

ふれ一般

に出回っ

ている萩

焼を目に

している

うち、「ぜ



ひこちらの人に質の高い本物の萩焼を知ってほしい」という使命感がわき上がってきたといいます。こうして始めたこの店も今年で15年目を迎え、関東一円や遠くは北海道からも多くの茶

ねえ、小萩人形を知っちゃって？

作者柳橋貞子の子孫から小萩人形が萩市に寄贈！

3月3日から小企画展も開催！

皆さんは小萩人形をご存じでしょうか。小萩人形は、松村のぶによって創案され、昭和10年(1935)の萩史蹟産業大博覧会に土産品として出品されて以来、市販されるようになりまし。戦後は授産事業として、製作者は常時40から50名に達しました。小萩人形は歌舞伎や舞踊を題材にしているため、全国への出荷とともに、アメリカなどに



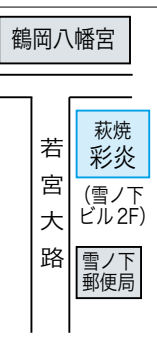
も輸出されました。人形の顔を布で製作するのは、世界中でも小萩人形のみだそうで、人形作家の辻村ジュサブローに大きな影響を与えました。小萩人形の作者、柳橋貞子は、明治36年(1903)横浜市に生まれ、大正中期に母の郷里である萩に移住しました。創案者松村のぶに師事し、昭和10年ごろから小萩人形の製作に携わりまし。戦後、萩市社会館で講師として小萩人形の製作を指導し、昭和50年(1975)には杉道助文化奨励賞(現萩市文化奨励賞)を受賞しています。

今回、柳橋貞子の子孫柳



橋段江氏(北九州市在住)から、約70体の小萩人形、また小萩人形関係古写真約30点、松林桂月書額「小萩人形」1点の寄贈を受けました。

萩市郷土博物館では、3月3日から5月9日まで、寄贈を受けた小萩人形の企画展「小萩人形の艶と織―柳橋貞子の小萩人形展」が開催されます。2か月に渡り展示してありますので、帰省の折りに立ち寄られてみてはいかがでしょうか。



## 日本で活躍した英語指導助手の ニューヨーク支部同窓会報 JETAA. NY 1998 秋号に萩市が紹介

この記事は、山口県の初代国際交流委員のダイアナ・ヘルウェッグさんから届けられた情報です。

### The Catalyst of Chande (変革の触媒)

日本を旅行した際訪問したなかで、忘れられない場所の一つに、萩という魅力的な小都市があります。山口県の日本海側に位置し、「小京都」と呼ばれることがあります。萩城の面影を残している堀や堀を自転車を通りすぎたり、毛利家の菩提寺の裏にある500基の灯籠がある庭を散歩するといったことがお勧めですが、本当に絵のように美しい町であるということは別として、萩は、日本の歴史上、非常に重要な都市の一つです。

今年、1868年に始まった日本の突然の西洋化を導いた明治維新から130年の記念の年です。将軍による300年間の治世の終焉と天皇制への維新を支持した多くの指導者は、萩から生まれました。そして、萩は、ペリー提督と黒船の来航に続く騒乱の中心でした。鍵となる人物は、慎み深い教育者であった吉田松陰です。彼の哲学を編み出し、また、門下生を魅惑させた小さな塾の建物とともに、彼を記念して、萩には、松陰神社があります。吉田松陰の書物や教養は、勤皇派の人々による「新政府軍」を動かし、戊辰戦争を始まらせることとなり、ついには、主要な工業国となる日本の急速な変革となりました。萩はまた、日本の初代総理大臣となった伊藤博文を育てた地でもあります。

今日の日本は、第二次世界大戦後、最悪の経済不況に悩まされているわけですが、それに対して、萩と明治維新はいくつかの観点を与えてくれます。日本の歴史の中で事件というものは、一方方向に続いた長い時代の流れのなかで起き、変革の到来は、突然やってきます。「指導者に続け」ということは当然のことです。日本国民は、政治においても個人的な場合においても、直接的な対決を避けることを好みます。しかし、良きにつけ悪しきにつけ、表面上どこからともなく新しい指導者が登場した時、日本国民は、大変革を望みます。このことは、突然の軍国主義の台頭、そして、国民のほとんどがそれを支持した第二次世界大戦前の数年間にもあてはまります。日本の全面的な敗北の後、日本国民は、ダグラス・マッカーサー元帥のもと、強固な立憲制の導入を受け入れました。

私は、日本が再び変革の道を見つけ、表面上克服できていない経済問題を解決するであろうと確信しています。しかし、自由民主党主導の半世紀近くにわたる議会制民主制度の後、新しい指導者と新しいアイデアの欠乏に対する苛立ちがあります。しかし、もし、歴史を参考とするならば、次の大変革は東京からではなく、萩のような思いがけない場所から生じるのかもしれない。

2月20日、「萩椿まつり」が笠山虎ヶ崎にある椿群生林で始まりまし。現在、約10㊦の敷地に、2万5000本のヤブ椿が可憐な花を咲かせています。

当日は、小雪の舞う寒い中、多くの市民や観光客の方が椿群生林を訪れ、散策を楽しんでいました。

開会式では、越ヶ浜保育園児による鼓笛演奏やダンス、郷土芸能の披露などが行われ、大きな拍手が送られていました。

会場では、特産品の販売や食べ物屋などが並び、賑わいを見せました。



## 萩・椿まつり

とき 3月22日まで  
ところ 笠山椿群生林



オープニングイベント

また、椿群生林を無料でガイドする椿見どころ案内人について、「ただ見るだけでなく、椿のくわしい説明も聞けて興味深かった」、「初めて知ったことも多く、ガイドをしてもらって良かった」といった声が多く聞かれました。

3月22日まで開催されているこの「萩・椿まつり」を、皆さんも見に帰られてはいかがでしょうか。

## ただ今、開催中！

## 萩の古き雛たち

とき 4月3日まで  
ところ 青木周弼旧宅



出来た衣装をつけた大型の「享保雛」、京都で有職故実(朝廷や武家の風俗や習慣を研究する学問)に基づい

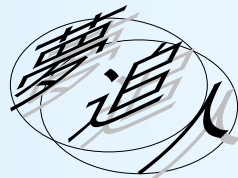
萩市南古萩町の青木周弼旧宅で、江戸時代から明治、大正、昭和初期にかけて作られたお雛さまを紹介する「萩の古き雛たち」が開催されています。

市民や郷土博物館が所蔵するものあわせて、約20点が飾られています。金欄(錦地に斜文組織で模様を織り、模様部によこに平金糸を織り込んだもの)や錦で

て仕立てられた「有職雛」、高さ10㊦以下のごく小型の「芥子雛」、昭和初期の小秋人形の技法を使った「小萩雛」などが、華やかに並んでいます。

旧暦の雛まつりにあたる、4月3日まで展示されています。入場は無料です。





齋藤

定さだむ

さん

今回は、昨年11月に「この石からはじまる 大井八幡宮覚書」(A5判、218P)を出版された、郷土史家の齋藤定さんに、執筆のきっかけやこれからの目標についてお話をうかがいました。

●この本を執筆されたきっかけは？

大井八幡宮には貴重な古文書が多くありますが、その管理が難しいため、市の文化財に指定しても



らおうと手続きをしました。そのことで、思いがけず山口県神社庁から感謝状をいただき、そのお返しにと思い、大井八幡宮の歴史をまとめてみました。  
また、昔から歴史が好きで、断片的になっている地方史を、古代から現代までつなげて「ふるさと大井」のすばらしい歴史を明らかにし、書き残しておきたかったのです。

●出版するにあたり苦労された点は？

技術的な問題ですが(笑)、本の中で使っている写真を上手に撮れなくて苦労しました。遠くでは、鎌倉まで行って撮りました。書くことは楽しかったです。

●出版されてみて、周囲の反応は？

考古学と文献史学の断絶がなく両方を取り入れているという点で、大学の先生から高く評価していただきました。

●プロフィール  
昭和7年生まれ。平成5年明経中学校長を最後に教職を退く。趣味は考古学、短歌、俳句。萩市大井坂本在住。



●これからの目標は？

実はこの本の中にも、短歌や俳句を随所に入れていたのですが、今度は新聞に投稿して入選した短歌や俳句を集めて、エッセイもつけて出版したいです。

●プロフィール

昭和7年生まれ。平成5年明経中学校長を最後に教職を退く。趣味は考古学、短歌、俳句。萩市大井坂本在住。

読者プレゼントの

お知らせ！

今回紹介した齋藤定さんの「この石からはじまる 大井八幡宮覚書」を、抽選で3名の方にプレゼントします。ハガキに住所氏名、萩ネットワークの感想を記入のうえ、〒758-8555 萩市役所広報課内 萩ネットワーク協会へ。締切は3月26日(必着)です。たくさんのご応募お待ちしております。

なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

販売 萩市大井公民館・

28-0213、28-0004

出羽へ事前に確認のこと

定価 2000円

取得を目指しています。

平成版の明治維新を担う人材育成を目指して名付けた「維新塾」は松下村塾が活動した期間2年9か月を期間とし、下関市山口県国際総合センター(海峽メッセ下関)で今年1月16日から毎月1度、計30回開かれます。受講生には塾終了後、3年間は県内を本拠地にして、国際交流、国際会議誘致等の活動することが期待されます。問い合わせ 外務省外郭団体 西日本国際交流推進協会 (0832-52-5446) 担当 /野村

## 面白きこともなき世を面白くー高杉晋作が語る幕末のひびき

野村武史さん (下関市・萩高7期卒)



野村武史氏

幕末の志士、高杉晋作の生涯と改革への思いを描いた「面白きこともなき世を面白くー高杉晋作が語る幕末のひびき」(A5判、156P)を下関市在住の郷土史家、野村武史さんが自費出版しま

した。

野村さんは、「晋作は感性豊かで、思ったことをすぐ行動に移す行動力がある人です。維新の時代と現代を重ね、晋作の思想に現在の混迷から抜け出すヒントを見いだしてもらいたい」と出版の動機を話しています。

晋作が考えたであろうことを一人称で語る文体で歴史をなぞり、各章の末尾には「晋作さんへの質問コーナー」と題して貿易自由化、

教育など現代の問題に晋作が答えるというユニークな構成になっています。

教育問題では、「学校任せの教育から、家庭・家族が中心になった絆を大切に教育を取り入れなくては21世紀に生きる人材は育たない」と晋作に語らせています。定価 一部2000円

問い合わせ 野村さん (0832-52-5446)へ

■平成版「松下村塾」を開講



面白きこともなき世を面白く」表紙

教育問題に関心のある野村武史さんが発起人となり、勤務先の西日本国際交流推進協会(下関市)の主催により「山口県平成維新塾」を開講しました。これは山口県で活躍する国際人を養成することを目的に、講師は外務省の大使等で、参加者は国連英語検定試験B級の



右から権さん、野村萩市長

萩焼のルーツ・韓国の若手陶芸家、権純呈（クオン・スンジュン）さんの個展が2月萩市民館で開催されました。

権さんは、国立ソウル産業大学の大学院で陶芸を専攻、日韓文化交流と焼物研究のため萩市民有志の招きで昨年3月に来日。萩や福栄村の窯元で研修をしてきました。3月上旬に帰国するため、約一年間の活動の締めくくりとして、白く化粧を施す韓国伝統の粉

青砂器（ブンチョンサギ）の技法に、萩焼の技法を取り入れた食器や酒器など120点を萩市民館で展示しました。

権さんは、「萩のみなさんには大変お世話になりました。萩は海や山、川に囲まれ景色がきれいなのが印象的。作品も韓国以外の土を使って自分なりに表現でき視野が広がりました。帰国したら故郷の南楊州市で独立した窯を開きたい」と話していました。

## 韓国の若手陶芸家 権純呈（クオン・スンジュン）さん

### 陶芸を通して日韓文化交流

萩焼のルーツについて新説を展開した歴史書「萩焼のルーツを訪ねて 李勺光と李敬のいた風景」（B6判、374P）を萩市東田町の会社役員、渡辺茂樹さんが出版しました。3月1日から全国で発売されています。



渡辺茂樹氏

渡辺さんは「萩焼の歴史を裏付ける史料が少ない中で仮説を実証しています。」

本では、萩焼の故郷を井戸茶碗を焼いたとする韓国慶尚南道河東郡辰橋面白蓮里などの古窯跡と特定するほか、李勺光は李朝の武人・李光岳で、李敬は晋州の地方長官だった李璣の名を名乗った陶工であり2人は兄弟でなかったと推論しています。



一部 1800 円、講談社出版サービスセンター

## 萩焼のルーツを訪ねて 李勺光と李敬のいた風景

### 渡辺茂樹さん（萩市東田町）

工の李勺光と李敬兄弟によって始まったと伝えられる萩焼のルーツについて、古文書解読と現地調査から推理を積み重ね、萩焼の歴史について定説を覆した仮説を立てました。

するのは難しいが、暴論と言われないように可能な限りの根拠を示した。歴史ロマンとして推理小説を手にするような気持ちで読んでもらえれば」と話しています。

問い合わせ 渡辺さん  
(0838・22・0932)へ

## 平成11年度の企画展

### 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☆中国陶磁の至宝ー英国デイヴィッド・コレクション展

4月10日（土）～6月13日（日）

中国陶磁史の研究者としても著名な英国のパーシヴァル・デイヴィッド卿が半生をかけて収集した中国陶磁器の名品1400点の中から、宋・元時代を中心に明清時代を加えた約80点の代表的作品を展示。



桃花紅釉 瓶  
Percival David  
© Foundation

品約120点を展示。  
☆よみがえる漢王朝展

10月7日（木）～11月28日（日）

中国社会科学院考古研究所と奈良国立文化財研究所が共同発掘した漢時代の長安城の文物の他、徐州「楚王墓」など中国各地で出土した質の高い文物約100点を展示。

☆発掘された日本列島展

12月4日（土）～1月9日（日）

毎年、全国で1万件以上の発掘調査が実施されているが、広く国民が実際に見る機会が極めて少ない。そこで、文化庁が主催し、近年注目された出土品を全国的に集めて展示し、埋蔵文化財に親しんでもらおうとするもの。

☆黄河の酒神展

12月4日（土）～1月9日（日）

1月15日（土）～3月20日（月）

シリーズ山東文物の第2弾目。中国龍山文化～漢時代までの酒器や醸造貯蔵に用いた容器約70点を集めて展示。黒陶、彩陶、青銅器を中心として黄河文化における酒の文化を紹介。

萩市平安古 58611

(0838・24・2400)

○開館時間/午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

○休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

# 情報アラカルト

## ー海外ー

### ■萩焼作家の個展

◇ウッド・ファイヤー・コンフェレンス展  
萩焼作家・濱中月村の作品が展示されます。

とき 5月1日(土) ～ 5月21日(金)

ところ オーストラリア・ローン市

◇中日書法芸術交流会展(陶芸部門)

萩焼作家・濱中月村の作品が展示されます。

とき 5月10日(月) ～ 5月16日(日)

ところ 中国北京市・中国歴史博物館

## ー東北地区ー

### ■萩焼作家の個展

◇陶・三輪栄造展  
とき 4月2日(金) ～ 4月8日(木)

ところ 山形市・松坂屋

## ー北陸地区ー

### ■萩焼作家の個展

◇守繁栄徹・徹親子展  
とき 4月1日(木) ～ 4月6日(火)

日(火)

ところ 新潟市古町・新潟大和

## ー関東地区ー

### ■萩焼作家の個展

◇萩焼・赤間硯伝統工芸新作展  
萩焼作家・人間国宝・三輪休雪、岡田裕、兼田三左工門、兼田圭炎、厚東建信、坂高麗左衛門、玉村登陽、止原伸郎、納富晋、野坂康起、野坂和左、波多野善蔵、松村拓夫、三輪栄造、山影陶道の作品が展示されます。

とき 3月16日(火) ～ 3月22日(振休)

ところ 横浜市西区・横浜そごう6F美術画廊

◇日本現代工芸美術展  
萩焼作家・田中克敏、田中秀男、中村真一、吉賀将夫の作品が展示されます。

とき 3月26日(金) ～ 4月4日(日)

ところ 東京都台東区上野・東京都美術館

◇第5回游茗会  
萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 3月30日(火) ～ 4月5日(月)

ところ 東京都中央区・日本橋三越

◇陶芸の現在ー土の形態学

萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 5月13日(木) ～ 5月18日(火)

ところ 東京都中央区・日本橋高島屋

## ー東海地区ー

### ■萩焼作家の個展

◇萩3人展  
萩焼作家・岡田裕、兼田昌尚、田原陶兵衛の作品が展示されます。

とき 4月5日(月) ～ 4月16日(金)

ところ 名古屋市中区栄町・サンギャラリー「住恵」

## ー関西地区ー

### ■大阪指月会

大阪指月会総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。楽しいひとときを過ごしましょう。

とき 4月25日(日) 正午～

ところ 大阪市北区芝田3丁目「大阪弥生会館」

### ■萩焼作家の個展

◇99現代陶芸7つのメッセージ展  
萩焼作家・三輪龍作の作品が展示されます。

とき 5月7日(金) ～ 5月24日(月)

ところ 大阪府守口市川原町・京阪百貨店7F京阪ギャラリー

## ー中国地区ー

### ■萩焼作家の個展

◇人間国宝・三輪休雪と三輪栄造・和彦展  
とき 3月23日(火) ～ 3月29日(月)

ところ 広島市中区基町・広島そごう

### ■内村幹雄作陶展

とき 4月23日(金) ～ 4月28日(水)

ところ 広島市中区八丁堀・天満屋7F美術画廊

### ■守繁栄徹古希展

とき 5月20日(木) ～ 5月25日(火)

ところ 出雲市今市町・出雲一畑百貨店

## ー山口県関係ー

### ■毛利博物館企画展「お雛さま」

毛利家が代々伝えてきた雛人形のうち、江戸時代後半に流行した次郎左衛門雛に、雅楽を奏する五体の楽人人形を配した段飾りを中心として、かつての毛利家のひな祭りをほうふつさせる品々を展示します。総数約480点。

とき 4月4日(日) まで

ところ 防府市多々良・毛利博物館

入館料 大人700円、小中学生350円

※毎週月曜日は休館日。ただし3

月22日は開館、翌23日休館。

■毛利博物館企画展「端午」  
若殿所用の「朝顔小道具」による端午飾りを中心に、甲冑・刀剣などの武具、および円山応挙筆「鯉図」・趙秩筆「寿老花鳥図」などを展示します。

とき 4月28日(水) ～ 5月30日(日)

ところ 防府市多々良・毛利博物館

入館料 大人700円、小中学生350円

※毎週月曜日は休館日。ただし、月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日が休館。

■1999年「リズム・ワークショップ発表会&交流会」

秋吉台国際芸術村では、3月16日から20日まで1999年リズム・ワークショップ「現代を楽しむ活かすリズム感」を開催されます。この期間中に、次のとおりワークショップの一般公開と交流会が行われます。

とき 3月19日(金) 午後6時30分～

ところ 秋芳町秋吉台・秋吉台国際芸術村

交流会

とき 3月19日(金) 午後8時～

ところ 秋芳町秋吉台・秋吉台国際芸術村内レストラン

交流会参加費 一般2000円、学生1000円

■萩焼作家の個展

◇濱中月村 花の器展  
とき 4月15日(木)～4月18日(日)  
ところ 下松市山田浴条・華のうつわ

※濱中月村の器を使用したお茶とお菓子の接待もあります(2000円)。

◇第8回山口県日展会展

萩焼作家・田中克敏、田中秀男、中村真一、松野龍司、吉賀将夫の作品と萩市在住の書家・小倉窓寛の作品が展示されます。  
とき 5月5日(祝)～5月16日(日)

ところ 下関市・下関大丸7F文化ホール

◇陶・三輪栄造展

とき 5月21日(金)～5月27日(木)  
ところ 下関市・下関大丸美術館廊

■ほっとビレッジ美東の3人の展  
萩市在住の切り絵作家・上田豊治の作品と、蔵貫信の絵画作品が展示されます。

とき 3月6日(土)～14日(日)  
ところ 美祢郡美東町赤・ペンションほっとビレッジ美東

ー萩市関係ー

■萩工業高等学校第34回からたち会総会

第34回からたちの会の総会を次のとおり開催します。多くの皆さん

の参加をお待ちしています。楽しいひとときを過ごしましょう。当日の飛び入りも歓迎します。  
とき 5月8日(土) 午後6時30分

ところ 萩工業高等学校体育館  
■萩の早春の味を楽しむ「しろ魚まつり」

とき 3月14日(日)  
ところ 萩市新川・JR東萩駅前広場

内容 しろ魚おどり食い(無料)、しろ魚グルメ、四手網漁体験、郷土芸能披露など  
(本号2Pを参照)

■萩の新酒と肴を味わう「萩の酒まつり」  
とき 3月20日(土)

ところ 萩市堀内・千春楽別館「味楽亭」  
内容 萩地方の新酒と北浦の鮮魚・水産加工等の味を楽しむ  
(本号2Pを参照)

■土と生命の炎が織り成す陶芸の祭典「萩焼まつり」  
とき 5月1日(土)～5月5日(祝)

ところ 萩市・萩市民体育館  
内容 萩焼即売、口クロ体験と作陶指導ほか  
(本号3Pを参照)

■茶の湯の文化を今に「萩・大茶会」  
市内各流派が一堂に集い、茶の湯の文化を披露します。  
とき 5月3日(祝)～4日(振休)

ところ 萩城跡指月公園、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋

茶券料 前売券11セット(4席券)2000円、1席券600円 当日券11席券650円  
(本号3Pを参照)

申し込み・問い合わせ 萩市経済部観光課内萩・大茶会実行委員会  
(08383・253・3131)

テレビ情報

■「おはよう日本」NHK総合  
月～金曜日朝のNHKのニュースワイドでお馴染みの「おはよう日本」の番組の中で、萩市越ヶ浜虎ヶ崎の椿群生林が全国に生中継されます。

放映予定日 3月11日(木) 午前6時30分～7時40分(中国地区、7時55分)

■水曜ドラマの花束「陶芸青春記 緋が走る」NHK総合  
人気劇画「緋が走る」のドラマ化。萩を舞台に、陶芸の究極美に挑戦する若い女性の姿に、青春模様を織りませ描いた陶芸ドラマです(本号8Pを参照)。

出演 田中美里ほか。  
放映予定日 4月7日(水)から毎週水曜日(全6回) 午後10時～10時45分

一 書籍紹介

■「松下村塾の明治維新」-近代日本を支えた人びと- 海原徹著 ミネルヴァ書房

松下村塾で学んだ百数十名の人びとが幕末・維新の激動期をいかに生きたのか。無名の市井人たちを含め、資料や村塾関係者の証言から研究する。本書は、村塾教育を松陰時代にとどめるのではなく、明治25年の閉塾へ及ぶ時期にまで拡大して、そこでの人間形成を制度的学校との対比で描き出す。「吉田松陰と松下村塾」「松下村塾の人びと」に続く三部作完結編。

価格 7000円(税別)

■「吉田松陰・会津に行く」滝沢洋之著 歴史春秋出版

改題「吉田松陰の東北紀行」の再販。時代に先駆けて烈しく生きた吉田松陰。その松陰の目には東北は、会津はどの様に映ただろうか。会津若松市史編さん委員で福島県立会津女子高の滝沢洋之の教諭が、同じ厳冬期に松陰が歩いた道を辿り、松陰の思想と行動にふれる旅をした松陰紀行。

価格 2000円(税込)

問い合わせ 滝沢洋之(0242・26・8659)

■「萩市郷土博物館研究報告第9号」萩市郷土博物館

萩城下街割原標石設置の謎、金谷天満宮造替に伴う礫石経の埋納、饜延縄漁と萩地方漁船の朝鮮半島への出漁、

新収蔵資料久坂玄瑞と高杉晋作の書簡の紹介、大島の樹木の調査報告、櫃島・尾島の陸産貝の調査報告、萩関係明治維新人物生没年一覧を収載。

価格 5000円(別途送料180円)

問い合わせ 萩市郷土博物館(0838・25・6447)

■「面白きこともなき世を面白く-高杉晋作が語る幕末のひびき」

野村武史著 本号12Pを参照。

■「萩焼のルーツを訪ねて 李勺光と李敬のいた風景」渡辺茂樹著 本号13Pを参照。

価格 1800円(税別)

■「レタスクラブ」3月号

女性に人気のあるレタスクラブ3月号に、萩の特集が組まれています。萩焼窯元の紹介のほか、ギャラリーや萩の料理などカラー写真を用いて紹介されています。

価格 260円(税込)

■「L&G」2月号

JR新幹線グリーン車で無料配布されている「L&G」2月号で「萩・津和野～文武に目覚めた城下町」を特集しています。写真は写真家立木義浩が撮影しています。

# 幕末・維新こぼれ話

元治元年(1864)の禁門の変、明治元年(1868)の戊辰戦争で、会津と萩は激しい戦いを繰り広げ、お互いに敗者・勝者の立場をそれぞれ経験しました。特に、戊辰戦争での会津の敗戦と、その後の処置が両者の間にしこりを残し、いまだにその溝は埋まっていないように思われます。

それでは、会津と萩が敵対関係となる禁門の変勃発のきっかけとなった、文久3年(1863)の8月18日の政変以前、会津と萩との関係はどのようなものだったのでしょうか。数回の連載で、幕末・維新时期における会津と萩との交流の歴史を垣間見たいと思います。

天保14年(1843)8月23日、萩藩は会津藩士の槍術家志賀小太郎を江戸藩邸に招聘することに決めました。志賀小太郎は文化10年(1813)生まれ、宝蔵院流槍

術の使い手で、江戸で「鬼の小太郎」として恐れられていました。天保2年(1831)に山陽・西海諸国の修行の旅に出、萩にも立ち寄り技芸を試みました。その時、村田清風はその妙技を称賛し、小太郎に一詩を賦して贈りました。このように早くから、小太郎の名声は萩藩にも聞こえていたのです。

天保14年は萩藩の天保改革の一環として、村田清風の提唱により萩近郊の羽賀台(現、阿武郡福栄村)において大規模な軍事演習が実施された年です。そのような時に、小太郎がわざわざ会津から招聘されたのは、萩藩の軍事力を強化するため、藩士の基礎訓練を行おうとしたためかもしれません。

天保14年9月21日、萩藩は招聘を請う正式な文書を会津8代藩主松平容敬に提出し、10月9日小太郎は門人堀機三郎とともに江戸藩邸に到着しました。この時、他藩士で萩藩邸に来て小太郎に師事しようとしたら、小太郎を招聘しようとする者がいましたが、萩藩ではすべてこれを断りました。

萩藩では、藩士の槍術家横地長左衛門(夢想流)、岡部

半蔵(宝蔵院流)、小幡与惣(宝蔵院流)の3人を小太郎に入門させましたが、小太郎が江戸藩邸に招聘されたことを聞き付け、萩藩士の中には急遽萩から江戸に出て、小太郎について槍術を稽古する者もいました。それほど小太郎の名は全国に知れ渡り、小太郎に師事して稽古をつけてもらいたいと思む者が多かったのです。萩藩の江戸藩邸での武術の稽古は、毎年12月20日に終了するのが慣例でしたが、盛り上がる藩士たちの稽古熱を受けて、今回は特別に延期されたほどでした。

小太郎は槍術だけでなく、兵学を講ずるなど文武兼備の士として将来を囑望されていました。嘉永3年(1850)38才で急逝しました。2人の息子はともに戊辰戦争で戦死しています。筆者は昨年9月、会津を訪れた際に小太郎の墓に詣でようと大窪山という会津藩士たちが眠る墓地を探しましたが、夕闇と墓地の広大さのため、ついに発見できませんでした。写真は、後に会津の方にいただいたものです。

萩市郷土博物館 樋口尚樹



志賀小太郎の墓

## 会津と萩の交流史

(1)

～会津藩士志賀小太郎の江戸藩邸への招聘～

### Topics

ちょっと耳寄りな は・な・し  
放送ライブラリーで  
見島の映像を公開

横浜市西区の「みなとみらい21横浜館」にある放送ライブラリーで、見島の映像が公開されています。

この放送ライブラリーは、NHK及び民放各社の優れた放送番組や社会・文化の記録として貴重な価値を有する放送番組を体系的に収集・保存して(財)放送番組センターが一般公開しているものです。

今回公開されることになった見島の映像は、見島の漁業や農業、古くから伝わる見島独特の風習などを紹介しているものです(NHK教育で1996年11月に放送)。

場所 横浜市西区みなとみらい1-1-2横浜館内 放送ライブラリー

※放送ライブラリーは、工事のため4月から横浜市中区のクリーンセンタービル(桜木町駅より徒歩5分)へ一時移転します。

(財)放送番組センター・放送ライブラリー(045・223・2111)